

KYOTO AYABE NIWA AtoZ

水源の里 仁和

AtoZ





MESSAGE

この AtoZ は龍谷大学政策学部的場ゼミナールと「水源の里・仁和」の皆さんで協力をして作ったミニパンフレットです。

昨今の京都は、多くの外国人観光客で賑わい活気を見せています。ですが「京都」の魅力は京都市内だけではありません。

今回ご紹介する「水源の里・仁和」には、自然と共に暮らす人々の営み、温もりがあります。そのような魅力をより多くの方々に知って頂きたいと考え、このミニパンフレットに魅力をまとめました。住民の皆さんの気持ちも伝わるように一生懸命まとめましたので、ぜひ最後までご覧ください。



「水源の里・仁和」は、町区創立75周年を契機に様々なまちおこしの取り組みを進めようとしています。秋には「芋煮会」、冬には「クリスマスイルミネーション」を始めとして地域の方々が盛り上げています。地域には歴史や文化にまつわるたくさんの魅力が詰まっています！

春

春になれば そこここに 赤いつつじや藤の花
ざくろの花に ゆすら梅 この里山や花ざかり
心はずんで 仕事する

夏

夏が来れば 犀川に せきれいが飛び交い
田んぼには 鴻の鳥が飛び立つ この里山は
野鳥の楽園 心なごんだ 夕涼み

秋

秋になれば 池も屋河内も 金色の稲穂が
風になびき 松茸山の 入札が始まる 秋祭り
の 祭礼が近づき 心にひびく 太鼓と笛の音

冬

冬が来れば 権現さんも 八幡さんも
阿弥陀堂も 雪化粧 満点の星空を見上げて
越し方を思う 心しみじみ 年を越す

～仁和町75周年記念誌より～

A | 阿弥陀さま
Amida-sama

B | ビューティフル
Beautiful

C | コミュニティ
Community

D | 大権現
Daigongen

E | 笑顔
Egao

F | ふりもの
Furimono

G | 山の神
God

H | 八幡さん
Hachiman-san

I | 池
Ike

J | 城本
Jomoto

K | 着物
Kimono

L | ロング
Long

M | 舞堂
Maiddo

N | 人情ある里
Ninryo

O | お地藏さん
Ojizo-san

P | ピザ
Pizza

Q | 七不思議
Question

R | 犀川
River

S | 里芋 (芋煮会)
Satoimo

T | 鶏塚古墳
Torizuka-kofun

U | 傘
Umbrella

V | 価値
Value

W | わらじづくり
Waraji

X | クリスマス
Xmas

Y | 屋河内
Yakawauchi

Z | 絶対美味しい！仁和の米
Zettai

**A**

Amida-sama

阿弥陀さま

現在の仁和町は「屋河内」と「池」という2つの集落が合併した地域です。古くから屋河内の住人に信仰されてきた阿弥陀さま。祠には「阿弥陀さん・庚申さん・お稲荷さん」がそれぞれ祀られています。8月の阿弥陀祭りに開帳され、多くの方がお参りし御詠歌や般若心経を唱えます。

**B**

Beautiful

ビューティフル

水源の里・仁和は「自然の美しさ」が魅力的です。山の緑が豊かで川の水がきれい。四季折々様々な姿に変化を遂げる自然は仁和町でしか見られない美しさがあります。子どもたちは仁和町の自然の美しさの中で育ち、感性豊かに成長していきます。仁和町ならではの四季の変化をその目で見てみませんか。

**C**

Community

コミュニティ

水源の里・仁和には42世帯106人が暮らしています。小さな集落ですが、住民が少ないからこそ結実力とコミュニケーションの強さがあります。住民たちが力を合わせ取り組む地域のイベントはとても楽しいものになっています。

**D**

Daigongen

大権現

旧屋河内に祭祀されている「大権現」。境内にある石灯籠には「元文四年十一月」と刻まれており、約280年前の江戸時代中期から祀られているのではないかと推測されます。その昔、ご神体は志賀郷地区の隣町である物部・白道路（はそうじ）に祭祀されていたが、故があって今の仁和町に祭祀されるようになりました。

**E**

Egao

笑顔

笑顔には、チョコレート2千個分の幸せを得る効果があると言われていいます。笑顔でいることで相手に安心感を与え、互いに話しやすくなります。仁和町は、小さな出来事も話せるような深い関係性で繋がっていて、みんな仲良く素敵な笑顔に包まれています。

**F**

Furimono

ふりもの

阿須々岐神社の大祭神事「祭礼奉納」に使われる杖のような「ふりもの」。祭礼奉納は、特有な伝統芸能を周辺の4集落持ち回りで奉納する習わしになっています。仁和町では「太刀」「薙刀」「棒振り」を務めており、その中でも地域の子どもたちは「棒振り」役を「ふりもの」を使って一生懸命練習し、神社に奉納します。

**G**

God

山の神

秋の収穫後は山に居り、春になると山を下って「田の神」になられるという「山の神さん」。昔は「屋河内」と「池」のそれぞれに山の恵みに感謝をする祭りが行われていました。この祭りも今では大人だけで「お日持ち」を兼ねて続けられています。しめ縄や草履作りなどの伝統も引き継がれ奉納しています。

**H**

Hachiman-san

八幡さん

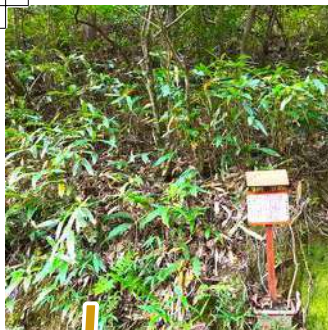
明智光秀の命により建てられ、城の守護神として崇拝したとされています。現在でも祭礼を7月中頃に行っており、麓から境内の入口まで旗や灯笼を立て、本殿には住民たちがお供え物を持ち寄り参拝します。境内はちょっとした広場になっているため、時には子どもたちの遊び場としても賑わっています。

**I**

Ike

池

現在の仁和町になる前は「屋河内」と「池」の2つの集落に分かれました。「池」は志賀郷村大字志賀郷に属していましたが「池」「屋河内」ともに戸数、人口が少なかったために2つの合併によって今の仁和町となりました。

**J**

Jomoto

城本

仁和町字北野にその跡を残す「北野城」は別名「城本（じよもと）」と呼ばれており、頂上には急な斜面を巡らせた50坪ほどの高台に「主館」があったと推測されています。頂上に至るまでの山の斜面は、急な崖と平坦地が交錯しており、自然の地形に人の手を加えた跡がうかがえます。

**K**

Kimono

着物

あすすき
阿須々岐神社の大祭神事「祭礼奉納」は、特有な伝統芸能を周辺の4集落持ち回りで披露するお祭りであり、仁和町では「太刀」「薙刀」「棒振り」を務めています。子どもたちが様々な着物を身にまとい、ふりものを持ち出し舞を披露します。

**L**

Long

ロング

日々地域で採れた新鮮な野菜を食べること、そして農作業で体を動かすことが健康な体を作ります。緑が多い自然の中で温かみのある仁和町の住民と作り上げるコミュニティが毎日を楽しく生きる糧となり、長生きへと繋がっています。



M

Maido

舞堂

昭和40年頃まで「舞堂」と呼ばれる建物があり、集会や映画の上映などに利用されていました。その前にある広場は子どもたちの遊び場になっていました。また、少し山道を登れば古舞堂という建物があったと言われていま

す。



N

Ninjyo

人情ある里

仁和町では住民それぞれが心豊かに思いやりを持って助け合いながら生活しています。その豊かな人情を活かし、ボランティアや行事、地域活動を通してコミュニケーションの輪をもち、元気な地域づくりを目指しています。



O

Ojizo-san

お地藏さん

設置された時代は不明ですが、当初は石像だけだったものが笠や衣をお地藏さんに着せたり、雨風をしのぐための小屋を建てるなどして地域の方から大切にされてきました。子どもたちや田畑を見守る役割としても親しまれています。毎年の地藏盆では住民が般若心経を唱え、子どもたちにはお菓子が配られます。



P

Pizza

ピザ

自家製のピザ窯を積んだ軽トラックで地域の方々にピザを提供しています。仁和町でイベントがあれば、ピザを焼くための道具が全て揃った軽トラックで足を運び、ピザを焼いてくれます。

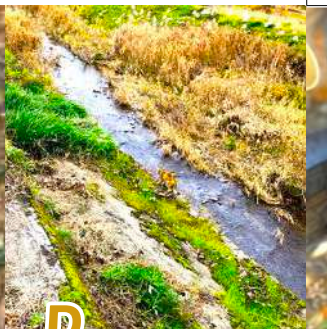


Q

Question

七不思議

しちふしぎ
志賀郷には古くから「志賀郷の七不思議伝説」というものが語り継がれています。この伝説は住民がとても大切にしている環境や文化を七つにまとめたものです。この七不思議をこれからも子供たちに語り継ぎたいと多くの住民が声を挙げています。



R

River

犀川

仁和町を流れる「犀川」。猫が水を飲みに来たり、野鳥が水浴びに来たりと、様々な動物たちが集まる場所です。夏には、子供たちが魚釣りをして遊んだり、仁和町の住民たちをつなぐ役割もあります。ホタルの季節には、眩い光に包まれ幻想的な風景が見られます。

**S**

Satoimo

**里芋
(芋煮会)**

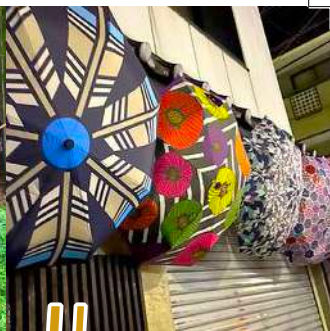
年に一度、里芋の収穫時期に行われる「芋煮会」。収穫した里芋を使って芋煮を作り、みんなで仲良く食べています。家族で参加する人が多く、子どもたちは仁和町のことを大人から学ぶ機会にもなっています。仁和町の皆さんが、改めて地域の良さを再確認する場でもあります。

**T**

Torizuka-kofun

鶏塚古墳

正月と節分の時期に黄金の鳥が志賀城の方向に向かって鳴くと伝えられています。その鳥が亡くなり、この古墳に埋められていることから「鶏塚古墳」と呼ばれています。古墳には城の関係者も埋められているとされ、小刀や土器が発掘されています。これらは現在は京都大学に保管されています。

**U**

Umbrella

傘

春や秋になると「弁当忘れても傘忘れるな!」という地域に伝わる昔からの言い回しがあります。春や秋は天候が変わりやすく、晴れていても急に雨が降ることもあります。傘は常備しておくべきということをおげさに表現した先人の教えなのです。



V

Value

価値

田舎の価値といえは…「食べ物が美味しい」「空気が綺麗」「自然が綺麗」とたくさん挙げられますが、そもそも全ては「人と人」との繋がりがあってこそ、存在し保たれているものではないでしょうか。仁和町では「人との繋がりが」が大切であり、最大の価値なのではないでしょうか。



W

Waraji

わらじづくり

稲で作られた履き物「わらじ」。その歴史は平安時代から始まり、長距離を歩く旅路に使われた伝統的な履き物です。現在でも祭の神輿担ぎには欠かせません。仁和町では例年「わらじづくり」が伝統の行事となっています。

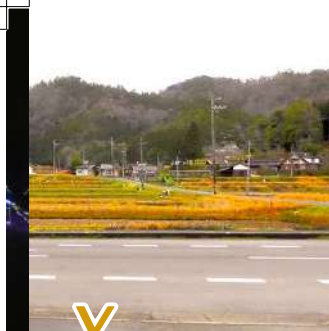


X

Xmas

クリスマス

クリスマスの時期になると仁和町公会堂の広場にイルミネーションが設置されます。イルミネーションの準備は住民総出で行い、年々その規模も大きくなっており、地域内外からも人気がある取り組みになっています。



Y

Yakawauchi

屋河内

やかわうち
屋河内は仁和町の西部に位置している旧町名。「大権現」「山の神」「舞堂」など仁和町の魅力を象徴するものがたくさんあります。みなさんも屋河内で仁和町の魅力を感じてみてください！



Z

Zettai

絶対美味い！仁和の米

農家の方が丁寧に愛情をこめて育てた仁和町のお米は、地域内外から人気があります。仁和町の自然の豊かさと魅力がたっぷりとつまっているので、まずはひと口食べて、魅力あふれる仁和町を体感してみてください！
(絶対美味い！)

Pick up

仁和町の皆さんと
ワイワイ話し合いながら
作成しました！



公会堂で地域の皆さんと
意見交換★



年會では秋晴れの下
皆さんから意見を頂きました！
仁和町の良い所がいっぱい！



横田 大樹
(駒形大学の学生)

地域の方々と共に作り上げていく事で、お互いに新たな魅力を見つけたり、地域の魅力を再確認できたと思います。さらに、様々なイベントにも参加させて頂いてとても楽しく、良い経験になりました。



伊藤 彩加
(駒形大学の学生)

仁和のイベントに参加させていただくうちに、地域の方が気さくにお話してくれるようになったことがとても嬉しかったです！芋煮会に参加させていただいたときには「いっぱい食べよう！」とおなかいっぱいふるまっていたかき幸せでした。そんな仁和の方のあたたかい心に触れることのできた期間となりました！



黒木 伸一
(水原の里、仁和)

仁和は、自然の恵みを受け美味しいお米がとれることが魅力の一つです。気候変動が気になりですが豊かな自然を守り、対応しながら生活できる集落でありたい。



金峰 清己
(水原の里、仁和)

仁和町は過疎で高齢化が進む中、放棄田を増やさないようにと地域みんなで頑張っています。この地で採れる美味しいお米を外に発信していけたらと思っています。自然豊かな仁和町で農業をしてみようと思わせるU・Iターンの方大歓迎です。



八尾 拓磨
(駒形大学の学生)

仁和に関わる中で人の温かさ、自然の豊かさを感じました！また仁和に行くといつも笑顔で迎え入れてくれて、コーヒーを入れてもらったりお菓子をくれたりと、とても良くしてもらいました。みんなが協力的で優しい居心地がとてもいい素晴らしい地域です！



片平 陽希
(駒形大学の学生)

仁和についての知識があまり無い私たち学生がAtoZの制作に携わせて頂くことで、地域の魅力を次々と発掘することができ、それだけでなく仁和を訪問させて頂いた地域の方々のおかげに触れることができました。このAtoZで仁和の魅力が少しでも多くの方々に広まることを願っています！

What's 水源の里 AtoZ ?

平成19年、全国に先駆けスタートした「水源の里」は、平成29年に3回目の条例改正を経て、更に活動を拡大しています。「水源の里 AtoZ」は、学生の目線から見た「水源の里」を、1冊の小冊子にまとめたものです。学生は繰り返し集落を訪れ交流を重ね、



西村 拓真
(農科大学の学生)

私たち学生から見た視点と仁和の方々から見た視点で作り上げるAtoZはとても良い作品になったと思います。あまり仁和に行く機会が少なかったのですが、仁和の方々の包み込むような優しさには心が温かくなりました。



本多 真奈
(農科大学の学生)

仁和に初めて訪れた時に話を聞いていて「AtoZを作成する程仁和に何も無い」とおっしゃられていたのですが、実際私たちが仁和に何うとAtoZに記載したいと思えることがたくさんありました。毎回温かく迎えてくださり楽しく作成することができました。



村上 治彦
(水原の里・C社)

春は新緑まぶしく、初夏にはホテルが舞い、秋には朝霧の中に黄金の稲穂が輝く。仁和は格好の散歩コースです。「水原の里」に指定された3年前に記念誌と史跡の看板を作り、芋煮会、イルミネーション設置など、わくわくする企画で仁和のまほろば作りをしています。



金村 昌之
(水原の里・C社)

仁和のええとこがしに大学生が訪れた時、仁和って「何も無いで」って言ったことを思い出します。地区の皆様は智慧を出して頂きよい冊子が完成しそうです。仁和はよいところばかりです。



杉山 樹
(農科大学の学生)

仁和では人の温かさとても感じることができました。特に印象に残っているのは「芋煮会」です。普段なかなか会えない人たちが集まって、1つのお釜で作った芋煮をみんなで楽しく団欒しながら食べる時間はとても楽しかったです。



沼野 正道
(農科大学の学生と教員)

地域にはまだまだ知られていない魅力がたくさんあると実感した取組みでした。どのように魅力を最大化し次の世代へ伝えていくか。難しさもありますが、皆さんと共に体験・体感しながら再発見していく過程が何より楽しい時間です。このAtoZをきっかけにまだ見ぬ魅力を一緒に探していきませんか？

地元の方々はこのまでの集落の歴史・魅力を見つめ直し、両者が力を合わせ、この「集落の名刺」を紡ぎ出しました。これからも「水原の里AtoZ」をはじめとした農村都市交流、水原の里集落と外部組織との連携事業を推進していきます。

水源の里・仁和 AtoZ

発行日 2020年2月28日

制作 龍谷大学政策学部 的場ゼミナール

八尾 拓磨 伊藤 彩加
西村 拓真 片平 陽希
横田 大樹 本多 真奈
杉山 樹

協力 水源の里・仁和の皆様

的場 信敬（龍谷大学政策学部 教授）
滋野 正道（龍谷大学政策学部・文学部 非常勤講師）
塩見 直紀
（半農半X 研究所、福知山公立大学准教授、総務省地域力創造アドバイザー）

発行 あやべ水源の里連絡協議会

（綾部市役所定住・地域政策課 上林いきいきセンター）
京都府綾部市八津合町上荒木 5
TEL 0773-54-0095
MAIL teijyutiiki@city.ayabe.lg.jp
HP <https://www.city.ayabe.lg.jp/>



あやべ水源の里 Facebook ページ

水源の里の「今」をお届け。
イベント情報や水源の里の四季をどこよりも早くもお伝えします。



京都・あやべ

水源の里

Villages at the source
of a river in Ayabe, Kyoto

